

「リニア中央新幹線建設を契機とした総合的な高速交通の将来像に関する研究会」 設立趣意書

リニア中央新幹線建設促進期成同盟会では、リニア中央新幹線の早期開業を目指し、駅設置が予定されている沿線9都府県の連携・協力の下、広報啓発や要望活動等に取り組んできましたが、今般、静岡県が本同盟会の趣旨に賛同して加盟することが決まり、10都府県で早期開業に向けて取り組んでいく体制が整いました。

リニア中央新幹線は、東海道新幹線と合わせて東京・大阪間の二重系化によって災害に強い国土の形成に貢献するとともに、東京・名古屋・大阪間の時間距離を大幅に短縮し、三大都市圏が一体化したスーパー・メガリージョンが形成され、これからの時代に相応しい新たな成長の実現に寄与します。

一方で、東海道新幹線については、リニア中央新幹線が開通した暁には「のぞみ」が担っている輸送ニーズがリニア中央新幹線に轉移し、「ひかり」「こだま」を重視した輸送形態に転換することで、沿線地域の再発展が期待されています。

さらに、こうした高速鉄道に加えて高速道路や空港による高速交通ネットワークが形成されることで、都市間のアクセス性が向上し、経済効果の全国への波及が加速度的に進むことが期待できます。

ついでには、リニア中央新幹線の開通を見据え、総合的な高速交通の将来像を研究し、それを広く社会に発信していくことで、リニア中央新幹線の建設促進に寄与し、沿線地域の振興への一助となることを目指し、本同盟会加盟の沿線都府県で構成する研究会の設立を提唱します。

令和4年8月9日

